

～自然との調和～
おく こまたがわ
奥・小又川バンガロー



〒645-0521 和歌山県田辺市龍神村小又川447番地
☎ 080-8945-4427 (受付9:00～20:00)

チェックイン/14:00
チェックアウト/10:00

Instagram ホームページ

和歌山県田辺市龍神村の奥にある小又川地域。周辺には他の民家や集落がなく、自然を身近に感じることが出来ます。清流小又川の流れる音が絶えず心を癒し、漆黒に包まれた夜には美しい星を眺めることが出来ます。利用者からは、テントを立てることなく初心者の方でも安心してキャンプを味わえると人気です。

自由に使える広い
共同スペース

モノラックで大きな荷物
でも気楽に運搬可能！

案内図

プライベート空間を大切にしています

敷地内のバンガローは全部で8棟。4.5畳の4人部屋が7棟と、7.5畳の6人部屋が1棟で、中には愛犬同伴で泊まれる専用部屋もあります。各部屋の隣にはフリースペースがあり、焚火やバーベキュー等で使用することができます。部屋ごとに窓からの風景などが異なっている為、皆様の推し部屋を決めてみるのも面白いかもしれません。

愛犬との大切な思い出づくりに（8号室）

室内はマットレスが撤去されているため、布団は利用者の持ち込み。外部デッキがすぐ隣にあり、ベットとの憩いのひと時を過ごすことができます。 ※小型犬一匹まで宿泊可。

本物の”ととのう”がここにある

龍神SAUNA「臈龍」（ろうりゅう）。このテントサウナは2023年春に導入されました。設置されているのは管理棟すぐそばの、もともと滝見台があったロケーションが一番良い場所。隣には水風呂や川へと繋がるサウナ利用者専用の降り口があり、川の中に直接イスを持ち込んで涼む、この場所ならではの楽しみ方をする人もいます。

至福のひととき

1日2組限定の事前予約制。貸し切りによる完全プライベート空間が、外的要因を全て遮断します。滝の音を聞きながらインフィニティチェアでくつろぎ、疲れた体をリフレッシュしましょう。

オーナー手作りの長椅子

こだわりの自家製 【CAFE 花音】（カフェ カノン）

2024年11月より、管理棟内にカフェがオープンしました。

龍神のもち米や卵など、地元の食材を活かしたオリジナルメニューは絶品です。

とにかく「自家製」にこだわっているとのこと、一度食べると病みつきになること間違いなし！どこか懐かしさを感じるような、落ち着いた雰囲気のある店内で一休みしてはいかがでしょうか。

※メニューは時期等により変更となる可能性があります。

FOOD

モカげんてい 龍神のもち米でついた自家製餅を使用	600円	珈琲 Coffee	350円
フレンチトースト 地元鶏肉とりとんファームさんの卵を使用	600円	紅茶	350円
ベーコンパスタ 玉島十組さんのフックパビン・自家製ベーコンを使用	600円	自家製梅ジュース(ソーダ+100円)	400円
サラダチキンパスタ 玉島十組さんのフックパビン・ヒリりんファームさんの卵・自家製サラダチキンを使用	600円	自家製ずももジュース(ソーダ+100円)	500円
もちいざ(味噌 or トマトソース) 龍神のもち米でつくった自家製餅を使用	1500円		
もちいざ(ハーブ(味噌 or トマトソース)	800円		

※こちらで撮影するお部屋まで小又川の天然水を使用しております。

MENU

思いやりの心

充実した調理器具が備わった炊事場。貸し出しは全て無料で、利用者同士で譲り合って使用してもらっています。器具はガラスケースに綺麗に並べられており、オーナー曰く、「綺麗に置いておくと、お客様が綺麗に戻してくれる」とのこと。またここには自由に使えるピザ窯があり、本格的なピザ作り体験が出来ると好評です。薪で焼くピザはまさに絶品！ぜひ体験してください。

見つけた人には幸せが！？

ハート型の石

オーナーの娘さんが偶然発見したハートの形をした石。敷地内のどこかにあるので、泊まりに来た際には是非探してみてくださいはいかがでしょうか？

龍神のキャンプ場はトイレが綺麗

利用者が気になりやすいトイレやシャワールームですが、特に注意し、隅々までこまめに清掃しているとのこと。びっくりするほど綺麗と言われるそうです。

色とりどりの緑が輝く
初夏がオススメです！

オーナーからのメッセージ

2008年、自然の中で子育てがしたいという想いから、この小又川のキラキラと輝く新緑の景色に心を奪われて移住してきました。ご縁あって、豊かな自然と清流に囲まれたこのバンガロー経営を引き継ぎ、四季折々の風景や川のせせらぎを感じながら、訪れた方々が心身ともに癒やされ、ご家族や友人と、自然と調和した心地良い時間を過ごしていただける場所を目指しています。バンガローの宿泊に加え、地元食材を活かしたカウンター席のみのカフェや川を臨む薪サウナも好評で、ここでもしか味わえない空気を五感で味わっていただいています。小又川の流れは、私たちの暮らしの中心にあり、日々の営みに寄り添ってくれています。ぜひ、奥・小又川バンガローに遊びにいらしてください！

キャンプ場オーナー 正木吉紀さん

〳〵横畑十一面観世音菩薩〳〵 龍神まにあスポット！

今回の龍神まにあスポットは、龍神村下福井横畑にある、覆畑十一面観世音菩薩です。

今から約三百年ほど前(元禄五年三月)に、信者佛師(姓名不詳)の手によって作られ、観音堂に納められました。それ以来、下福井村人の「守り本尊」として信仰されてきました。

当初のお堂は手谷口「堂田」に建立され、宝永六年に下川氏ご寄贈の鰐口が正面に飾られていました。

明治二十二年の大水害でお堂が流されてしまったものの、幸い本尊はその難を逃れ、信者の人々の力で現在の位置に再建され、本尊が移されました。

大正時代の初期になると、村人達の集会所を兼ねたお堂に改築され、お祭りや会合、共同醤油絞り、子供達の遊び場として使われるようになりました。なお、今でも当時の版木や印、数珠が残されており、約二十年ほど前までは厄除け、家内安全、安産等を祈願しながら、皆で大きな円になって座り、百万遍数珠を回していました。現在では毎年三月の第一日曜日に厄除け等の祈願や餅まきが行われています。

●十一面観世音菩薩の立像について

十一面観音の上部にある三つの顔は「慈面(じめん)」、左側の怒っている三つの顔は「瞋面(しんめん)」、右側の牙を出している三つの顔は「百牙上出面(はくがうでめん)」、後方の笑っている一つの顔は「暴大笑面(ぼうだいしやうめん)」といえます。これらに中央の顔を合わせて「十一面観音」と呼びます。残念ながら、昭和五十五年の改修前に盗難にあい、その際に正面以外の顔は無くなってしまったそうです。

●伝承

古伝によると、横畑に十一面観世音菩薩が祀られて以来、横畑のヒルは人に吸い付かないと言われています。その由来はなんと観音様がヒルの口をひねりつぶしたからだそうです。

引用 龍神村誌 下巻

福井横畑十一面観音